

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画	職員一人一人が情報収集に努め、職員間での情報共有をミーティングだけでなく日常的に行う。どうしても話し合う利用者が特定されてしまいがちなので、ミーティングで計画的に一人一人について検討する機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング以外にも意見交換できている。職員が経験を積んできたので情報についての共有ができるようになってきた。利用者一人一人についてミーティングで話し合うことで、利用者についての理解を深め、統一したケアができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	0	1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	2	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	4	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者とのかかわりを多く持ち、利用者の思いや気持ちを聞くようにしている。言葉にできない利用者も表情を見ながらその思いを理解するよう努めた。利用者とのかかわりで得た情報をミーティングで情報交換し、その人にとって何が必要なのかを考えるようにしている。また、ミーティングだけでなく、日ごろから利用者について気づいたことや家族の言葉など情報交換している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用や急な退院の時に情報が不足し、利用時の様子を見ながら援助を考えなければならないことがある。どうしても家族の都合中心の利用になることが多く、利用者の思いが後回しになってしまう。利用者の情報についてすべてミーティングで出し合い、共有することができない。日常的にもその日の出勤者の中でしか共有できていないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用者についての情報は口頭で伝えるだけでなく、フェイスシート等職員全員が目を通せるようにする。利用者について変わった事、伝えたいことはメモに書いて職員全員が把握できるようにする。職員一人一人は日誌に目を通すようにして利用者についての情報を得る。日勤者、夜勤者の引き継ぎをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	7 人	0 人	10 人

前回の改善計画	本人がしたいことを知るために、個別にかかわる時間を持つ。そのためには業務遂行を第一に考えるのではなく、本人とのかかわりを多くもって気持ちを知る努力をする。本人の言葉だけでなく、表情や動作もしっかりと観察し、「～したい」と言う気持ちを理解していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者との会話の中からその人の「～したい」を探そうとしている。介助の必要な利用者にはばかり目がいき自立している利用者はかかわりが少なくなってしまう。昼食時に色々な利用者とお話をするよう心掛けている。認知症のある利用者の行動についてその意味を考えるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	7	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	2	7	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	4	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その人自身を主体とした目標を設定できるよう、できるだけ多くかかわって話をするように心がけている。職員が個別にかかわり知り得た情報をミーティングで発言し、皆で話し合い今後の対応を決めている。通所利用時に利用者がしてほしいと思うことについてはできる限り対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
一日の流れが決まっており、人数が増えてきたこともあり、ゆっくりと利用者一人ひとりにかかわる余裕がない。利用者個々の「～したい」を明確にするより、できる・できないに対してどのように対応するかがケアの中心になってしまっている。自分の「～したい」が言葉にできない利用者の思いをくみ取ることが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
業務について後にできること、すぐにすべきこと等整理をして、利用者とかかわり話をする時間を作る。どの利用者ともかかわりを持つように心がける。利用者とかかわりの中で知り得たことは情報としてミーティングだけでなく日常的に話をする等共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<p>できることとできないことを把握するために日常的に観察し、ミーティングで話し合い共有する。できることはしてもらうということを職員一人一人が意識し、日課中心の介護から本人の自立支援中心の介護に変える。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>利用者のできることを把握し、できることは自分でしてもらうようにしている。どうしても忙しい時は待たずに手伝ってしまうことがある。危険だと感じることもあり、利用者にできることをしてもらうことが出来ていないこともある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	4	4	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	7	0	1	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	5	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	7	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者個々の状態に合わせたかかわりができている。できないことは援助し、できる事は自分でしてもらうようにしている。利用者の気持ちや体調についてミーティングで話し合い、職員が同じようにかかわりを持ち、統一したケアを実践している。利用者に変化がみられたときは、その都度職員で情報を共有するとともに、対応について話し合うようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>その日一日が無事に過ごせることを重視してしまいがちである。自宅での様子や以前の暮らしに目を向けるよりも、目前の課題や認知面・身体面での課題に対応することが中心になってしまう。体調の変化については看護師に任せきりにしてしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>以前の暮らしについて職員一人一人が利用者や家族に聞き、情報として共有する。利用者に関わり変化がないかよく見て、自分で言えない利用者の気持ちをくみ取るようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	2 人	6 人	1 人	10 人

前回の改善計画	一人一人の今までの暮らしや人間関係、現在どのように自宅で過ごしているかの把握に努め、職員間で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者とはゆっくりと話をする余裕が持てず、話しやすい利用者とはばかり話をしてしまう。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	5	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	4	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	7	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今までの暮らしについて利用者とは話をしている。また、家族からも訪問・面談時だけでなく、送迎の時間も活用して話を聞くようにしている。自宅での過ごし方について知り得た情報を職員間で交換し、自宅と事業所での過ごし方に差がでないように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアマネ以外の職員が民生委員や地域と直接かかわる機会が少なく、把握しきれていない。通所利用や送迎、訪問以外で利用者にかかわることが少なく、事業所を利用していない時間にどう過ごしているか把握できていない。一人ひとりの利用者についての地域での暮らしの支援ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者や家族から話を聞いたことは記録をし、他職員にも伝え情報として共有する。利用者が事業所を利用していない時間をどう過ごしているかを把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	5 人	1 人	10 人

前回の改善計画	事業所だけで支援するのではなく、本人の力、家族の介護力をもっと活用することを家族と話し合う機会を持つ。地域の中に活用できるものはないか、知るよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所に来て貰う方が対応しやすいのでどうしても通所や泊まり利用になってしまう。そのことで利用者や家族にできることを減らしてしまっているかもしれない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	6	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	2	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	5	2	1	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	9	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族の状況にあわせて柔軟にサービスを提供できている。日頃のかかわりの中で気づいたことは記録として残している。事業所の利用中心にならないように、可能な限り家族にもかかわってもらうように協力をお願いしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族の大変さにあわせて通所や泊りを増やしてしまいがちである。また、事業所以外に利用者や家族を支えることのできる地域の資源についてなかなか把握できず、どうしても事業所だけで抱え込んでしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員一人一人が色々な視点を持って利用者を見て、気づいたことは記録したり伝えあったりする。利用者や家族のできることを知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	3 人	3 人	10 人

前回の改善計画	事業所として参加できる活動やイベントを知る。事業所として地域に貢献できることはないか検討する。日々の業務に追われるのではなく、職員一人一人が広い視野をもって地域との連携や協働について考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	今まで地域に働きかけるよう努力してきたことで、少しずつ地域に受け入れられ交流する機会が増えた。地域との連携や協働について具体的にどうするかを考える必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	3	3	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	4	4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	6	3	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
病院や他事業所とはこまめに連絡を取り情報を共有している。サービス担当者会議を開催し、計画の確認や見直しをしている。地域のかきかきや小学校、老人会との交流している。地域の公民館行事に利用者とともに参加している。利用者が自分の住んでいる地域の行事等に参加できるよう見守り、必要に応じて支援する体制を整えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域とのかかわりがまだ少なく、誰もが気軽に立ち寄れる場所になっていない。職員一人ひとりが何か地域に貢献できることをしなければならぬと思いつつもなかなか具体的に動けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の方に来て貰う機会を増やすために、見学や交流等を企画する。事業所として地域に貢献できることを考え、実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

7. 運営

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	9 人	0 人	10 人

前回の改善計画	地域住民との交流の場としてサロンやイベントの開催など具体化に向けて検討する。地域における小規模多機能事業所の役割について職員が理解を深められるよう話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方の意見を聞く機会が持てていない。地域における小規模多機能事業所の役割は難しいので考えられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	2	5	3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	1	6	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	5	4	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事に積極的に出かけたり、事業所に来てくださるボランティアの方々や運営推進会議を通じて地域の理解が少しずつ得られている。利用者や家族の苦情があったときはミーティングで周知し、改善策について話し合っている。小規模多機能サービスの内容や利点について研修で学ぶなど、職員が理解できるように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民との交流の場を持つことについて具体化できていない。地域とのかかわりが少ないため、地域の方からの意見等を聞くことがあまりない。個人情報のことなどを考えると、いろいろな人に気軽に事業所に来てもらうことがいいのか悪いのか判断に困ることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
行事への参加やボランティア活動などで地域の方に事業所に来て貰う機会を多く持つ。利用者と地域の行事等に出かけるようにして、交流を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	5 人	2 人	10 人

前回の改善計画	スキルアップのための情報を周知し、職員一人一人がスキルアップできる環境を整える。地域連絡会等への参加について検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修について職員に周知するようにしたが全職員が研修を受講することができていない。月 2 回の研修を実施しているが資料の読み合わせだけなので違う方法も検討する必要がある。利用者は十人十色なので理論を知るだけでなく、実践の場で技術を身に着けたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	0	3	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	3	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	7	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	2	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内研修を月 2 回実施している。新任職員には仕事を通じて、利用者へのかかわり方、介護の方法を学んでもらっている。インシデントやアクシデントについて研修するとともに、発生時はミーティングで話し合い事故のないように努めている。職員一人ひとりが予測されるリスクを意識しながら利用者とかかわるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員一人ひとり自己研鑽のため学びたいという気はあるが、どこで何を学ばよいか分からないことが多い。リスクマネジメントについての研修は行っているが、日々の業務に追われてことが起こってしまっからあわてることもある。 地域連絡会についてはよくわかっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
外部研修について職員に周知し、より多くの職員が受講できるようにする。職場内研修の内容を検討し、理論と実践のフィードバックをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 17 日 (17 : 30 ~ 22 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中島 平野 川西 高橋 久保 堤 西村 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	1 人	1 人	10 人

前回の改善計画	身体拘束、虐待防止、プライバシーの保護についての研修を年 1 回は実施し、全職員の共通理解のもと、個人が尊重される支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束、虐待防止、プライバシー保護についての研修を実施している。利用者の気持ちを大切にしたいと思っているが、けがを心配するあまり行動制限をしてしまうことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	6	0	0	10
②	虐待は行われていない	5	5	0	0	10
③	プライバシーが守られている	1	9	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	6	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修を実施し、身体拘束をしない介護を心がけている。利用者のプライバシーや個人情報を守り、利用者や家族が嫌な思いをされないようにしている。自由に動いてもらうとリスクが高まるが、危険を回避できるよう見守りや付き添いをしている。ミーティングや研修など自分たちの言葉遣いや態度について振り返る場を設けている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事故にならないように気をつけるあまり行動制限してしまうことがある。何度も危険な行動をとる利用者については、なかなか 1 対 1 でかかわる余裕がないのでつい言葉遣いがきつくなったりしてしまう。忙しさや人手不足を理由に工夫することができていない。職員間で利用者のプライバシーについての共通理解ができていない。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者の人権を守るために話し合い等学ぶ機会を多く持つ。利用者の気持ちが落ち着かない時はその理由を考え、対応について話し合う。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------